



セキュリティ関連情報提供サービスの活用につきまして

平成29年3月29日

商務流通保安審議官 住田 孝之

商務情報政策局長 安藤 久佳

昨今、サイバー攻撃の件数が著しく増加し、その影響は深刻化しています。

サイバーセキュリティ上の課題の一つに、脆弱性への対応が挙げられます。脆弱性とは、ソフトウェア製品やアプリケーション等において、不正アクセスやコンピュータウイルス等の攻撃を受けるおそれがあるセキュリティ上の問題箇所をいいます。こうした脆弱性は、その問題箇所を修正した修正版のソフトウェアにバージョンアップすること等により対策を取ることができます。

他方で、このような対策を行わないうちに、その脆弱性を突いたサイバー攻撃を受けた場合、個人情報や営業秘密の窃取等の被害が発生するおそれがあります。先日も、世界で広く使われている Web 用サーバーソフトウェアの Apache Struts2 の脆弱性情報が公表され、その脆弱性を突いたと思われるサイバー攻撃の事案が発生しています。また、最近の傾向として、ソフトウェア製品等の脆弱性が修正・公表されてからサイバー攻撃が行われるまでの時間が短くなってきています。

これに対応するためには、日頃から自社のシステム等で利用しているソフトウェアを把握するとともに、脆弱性の情報が公表された際には、情報をいち早く入手して、対応を行うことが必要です。そのためには、ベンダーなどとも協力して継続的に脆弱性対応を行えるような体制を整える必要があります。

(独)情報処理推進機構(IPA)や一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター(JPCERT/CC)では、脆弱性が公表された際に、対策に必要な情報を企業等がいち早く入手できるよう、脆弱性情報を含む注意喚起等をメールで配信する無料の情報提供サービスを行っています。加えて、IPAでは、企業内のポータルサイトなどに埋込むことで、簡単に IPA から発信する「重要なセキュリティ情報」をリアルタイムに表示できる「icat for JSON」を提供しています。これらのサービスでは、脆弱性以外でも有用なセキュリティ情報が提供されています。

については、貴協会におかれましては、所属する企業に対して以下につき要請いただくようお願いいたします。

1. 別紙に記載するサービス等に登録し、いち早く脆弱性等の情報を受け取る体制を整えること。

【配信主体：(独) 情報処理推進機構 (IPA)】

サービス内容		登録方法等
メールニュース	ウイルス対策情報、不正アクセス対策情報、ソフトウェアの脆弱性対策情報等のセキュリティ対策に関する情報等を受け取ることができます。 配信設定により、IPA のイベント・セミナー情報等も受け取れます。	<p><詳細情報> https://www.ipa.go.jp/about/mail/index.html を御覧下さい。</p> <p><登録方法> 上記 URL の登録ボタンより登録下さい。 登録の際に、配信内容として「情報セキュリティ」を選択いただくと、関連情報が配信されます。</p>
リアルタイム配信 (icat for JSON)	「icat for JSON」と企業ポータルサイトを同期化することで、IPA が発信する「重要なセキュリティ情報」をリアルタイムに企業ポータルサイトに表示することができます。	<p><詳細情報> https://www.ipa.go.jp/security/vuln/icat.html を御覧下さい。</p> <p><登録方法> 上記 URL 記載の設定方法に従い、設定ください。</p>

【配信主体：一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC)】

メーリングリスト	ウェブサイトで公開した深刻かつ影響範囲の広い脆弱性等に関する情報を告知する注意喚起や、ゴールデンウィーク・年始年末等の長期休暇の前に注意すべき点などを紹介する文書等を受け取れます。	<p><詳細情報> https://www.jpccert.or.jp/announce.html を御覧ください。</p> <p><登録方法> 上記 URL の「メールアドレスの登録・変更・削除」を御覧いただき、登録ください。</p>
----------	--	--

【配信主体：IPA、JPCERT/CC】

JVN ウェブサイト	ウェブサイトにて、対策方法を含むソフトウェア製品等の脆弱性情報を見ることができます。	https://jvn.jp/
---------------	--	---